

国保税30年度税率はどのようなか

保険税率は据え置く



稲留 光晴 議員

30年度から国保税は町が徴収して県へ国保事業納付金として納めることになるが保険税率はどうか。

保険税率は据え置く

保健福祉課長

これまでの保険税率で充足できると判断し、据え置くものとした。

4方式でいくのか

稲留議員

県は3方式で自治体に保険料率を参考に示しているが、29年度の国保税税率と同様4方式でやると理解しているのか。

30年度国保税率（4方式）

税率	医療分	支援金分	介護分	計
所得割率(%)	7.3	2.7	1.9	11.9
資産割率(%)	29.4	13.8	11.1	54.3
均等割額(円)	20,700	7,800	7,600	36,100
平等割額(円)	19,300	7,000	5,000	31,300

その通りである。

保健福祉課長

県の国保運営方針は35年度までに、県内3方式に統一することを目標とするとなつていく。今後いろいろと検討していく。

介護保険料の値上げには反対である

稲留議員

今期30年度から32年度（第7期）は値上げになつている。値上げには反対である。なぜ値上げするのか。

介護給付見込料が膨む

町長

高齢者の増加と、介護報酬改定に伴い報酬額が0.54%引き上げられた。また1号被保険者負担割合が22%から23%に引き上げられたため、介護給付費見込料をもとに保険料を設定した。

住民負担軽減に取り組んだのか

稲留議員

負担軽減に取り組み

という考えを持つべきであると考え。値上げをせずにすむ検討をされたのか。

保険料について、相当検討をした

町長

本町において毎年3%ずつは介護給付費が増えている。今後の介護保険事業、介護を受ける方のサービスもできなくなる。双方のメリット・デメリットを勘案しながら保険料について、相当検討した。

保険料を据え置く自治体もあるがどうか

稲留議員

高齢者の健康づくり、栄養指導、口腔ケアなど、介護予防に力を入れて保険料を据え置く基金とかに力をいれている自治体もあるがどうか。

介護予防事業を充実させる

保健福祉課長

介護予防事業の充実が保険料の上がる抑制になると考えるので、介護認定を受ける方々を減らすことも目標であるから、今後も力を入れていく。

中学生就学援助金3月支給はできないか

稲留議員

7月給付から5月末給付に前倒しが実現したが、必要な備品購入時期にお金があるか無いかで辛い思いがある。3月中に支給できないか。

中学生入学前支給を実施する

教育長

中学生の入学用品については今回から入学前支給を実施する。

大崎中学生の制服購入額はいくらか

稲留議員

都会では保護者に制服購入の負担が重い状況がある。大崎中では

いくらか。

表の通りであり、一部助成している

教育長

29年度から中学入学生徒の保護者に制服購入費一部助成し生徒一人に対し3万円支給している。

制服購入額（教育長答弁より）

	男子生徒	女子生徒
購入(各1枚)	冬用上着	イートンジャケット
	冬用スラックス	長袖セーラーブラウス
	長袖カッターシャツ	冬用スカート・リボン
	半袖開襟シャツ	半袖セーラーブラウス
	夏用スラックス	夏用スカート
計(円)	38,988	48,978